

Shielding積分テストWG
1992年度 第4回会合 議事録(案)

日時 : 1992年9月28日(月) 13:30~17:30
場所 : 日本原子力研究所 本部 第3会議室
出席者 : 市原(京大)、山本(阪大)、長谷川、川合、前川、中島、田中、今野、森(原研)、
植木、大橋、小田野(船研)、佐々木(MAPI)、鈴木(動燃)、義澤(三菱総研)、
高橋(星合代理)(CRC)、山野(住友原子力)、オブザーバー: 林(日立エンジニアリング)
以上18名 <敬称略・順不同>

配布資料:

SB-92-26: 第8回遮蔽国際会議について	[植木委員]
SB-92-27: 二次ガンマ線積分実験の既存データについて	[鈴木委員]
SB-92-28: Numerical Data of Leakage Neutron Spectra from Various Sphere Piles with 14 MeV Neutrons	[市原委員]
SB-92-29: 14MeV中性子によるSS316L体系内二次ガンマ線核発熱	[中島委員]
SB-92-30: 中高エネルギー中性子核データ検討作業計画(案)	[山野委員]
SB-92-31: Table of Data Points and Incident Energies	[山野委員]

議事 : 1. 前回会合議事録(案)の確認がなされた。

2. 委員、オブザーバーの追加について承認され、新委員の自己紹介がなされた。

3. 第8回遮蔽国際会議について

植木委員より資料SB-92-26の説明があり、1994年4月24-27日に米国Texas, Arlingtonにおいて第8回遮蔽国際会議がANS主催で開催されることが決定されたとの報告があった。セッショントピックス案は広範囲の分野から構成されており、今年度中にCall for Paperが行われる予定であり、日本からも多くの参加と発表が要請された。

4. 二次ガンマ線積分実験に関する調査報告

- 鈴木委員より資料SB-92-27の報告があり、MOZART計画におけるガンマ線積分実験(Köchel実験)とORNLのTSFでのガンマ線積分実験の説明と一連の解析に関する説明がなされた。なお、本件は日英協定により公開されていない。
- 市原委員より資料SB-92-28の報告があり、OKTAVIANで行われた14MeV中性子による種々の球体系からの漏洩中性子スペクトル実験の説明がなされた。
- 山本委員より上記のOKTAVIANで行われた14MeV中性子による種々の球体系からの漏洩中性子スペクトル実験と二次ガンマ線スペクトル実験の説明がなされた。
- 中島委員より資料SB-92-29の報告があり、FNSで行われた14MeV中性子によるSS316L体

系内での二次ガンマ線核発熱実験とその解析結果が説明された。

その後、これらの報告に対する議論がなされ、二次ガンマ線積分テストの実施方法および解析に対する要望等が出された。二次ガンマ線積分テストは中性子とガンマ線両者の系統的な解析が不可欠であり、感度解析等の手法の開発と適用が必要ではないか、また本WGの評価結果を核データ評価にどのようにFeedbackすべきかを議論した。次回の会合では他の実験に関する調査結果を植木、義澤委員より報告することとし、作業分担を含む活動計画の詳細を決定することとした。

5. 中高エネルギー核データ検討作業について

山野委員より資料SB-92-30, 31の説明がなされた。核データセンターには米国BNLよりCharged Particle EXFORが整備されつつあり、中高エネルギー核データ評価の準備が進行中であることが報告された。本WGの中高エネルギー核データの検討作業案として、以下の作業案の提案がなされた。

- a. 中高エネルギー中性子断面積の検討
- b. 核種生成断面積の検討
- c. 厚いターゲットにおける中性子収率データの検討

これらの提案については、検討作業案を次回会合で議論することとした。

次回会合予定：1992年12月11日（金）13：30～17：30
日本原子力研究所 本部 会議室

次回予定議題：1) 二次ガンマ線積分テスト作業計画について
2) 中高エネルギー核データ作業計画について
3) その他

以上